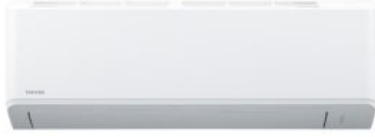


東芝ライフスタイル(株)

製品種類: エアコン

機種名: RAS-E221C5S

販売年度: 2026年



評価項目(アセスメント評価項目)

番号	取組項目	説明
1	減量化・減容化	✓
2	再生資源・再生部品の使用	
3	包装	
4	製造段階における環境負荷低減	
5	輸送の容易化	
6	使用段階における省エネ・省資源等	
7	長期使用の促進	✓
8	収集・運搬の容易化	
9	再資源化等の可能性の向上	
10	手解体・分別処理の容易化	
11	破碎・選別処理の容易化	
12	環境保全性	✓
13	安全性	
14	情報の提供	
15	LCA (ライフサイクルアセスメント)	

製品アセスメントの概要

本製品は、スタンダードモデルでありながら、これまでの技術資産の応用と新規に開発した技術の融合によって高い省エネ性能を実現。さらに軽量・コンパクト設計、メンテナンス・据付性の向上、部品点数削減や自動化による製造効率の改善といったさまざまな課題も高い次元で解決し、目標年度2027年度の省エネ基準を達成しながらユーザーの利便性も向上した。

改善の具体的内容

[] 中の数字は関連する評価項目の番号です。

1. 省エネ性能と軽量・コンパクト設計を両立 [1]

【新規】

室内機・室外機の全面的な再設計により、熱交換効率を引き上げることで省エネ性能を向上した。さらに、スタンダードモデルに求められる「軽量・コンパクト」を実現するため、過去の解析資産を活用し、熱交換器の形状を最もコンパクト化できるアスペクト比を算出。配管の配列や曲げ形状、制御基板ボックスの形状も最適化することで室内機のデッドスペースを限界まで削減した。また室外機は圧縮機および配管の配置を見直すことで、筐体の大型化を抑えながら大口径ファンと高効率熱交換器の搭載を可能とした。これらの技術によって目標年度2027年度の省エネ基準達成に加え、同じく省エネ基準を達成した従来製品と比較して総体積-11%、総重量-13kgのコンパクト化を実現※1した。

※1：当社現行の目標年度2027年度省エネ基準達成モデル RAS-U221DZ との比較

(APF：RAS-E221C5S 6.6 / RAS-U221DZ 6.6)

(室内機、室外機 総重量：RAS-E221C5S 36kg RAS-U221DZ 49kg)

2. ワンタッチで脱着可能なエアフィルターやルーバー構造によりメンテナンス性を向上 [7]

【新規】

清掃作業の手間を軽減するため、室内機のエアフィルターをワンタッチで脱着できる新構造を開発。前面パネルの開閉や作業台などでの高所作業を不要※2とし、フィルター清掃にかかる作業時間を約1/10に短縮した※3。汚れやすいルーバーについてもワンタッチで脱着できる新構造を開発し、お手入れの利便性が大きく向上した。

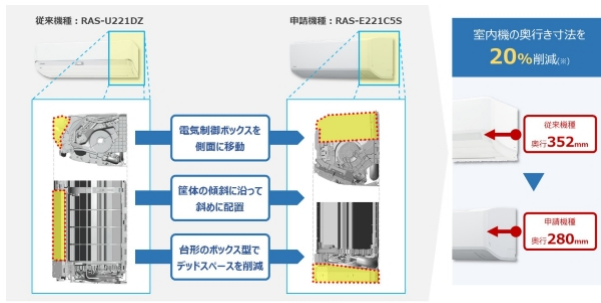
※2：エアコンの設置環境によっては安全な作業台などが必要。

※3：当社実測値。エアフィルターの脱着時間：約200秒→約20秒に短縮(清掃時間は除く)。

3. 環境保全性 [12]

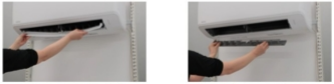
J-Moss に対応

構造等の図



室内機のコンパクト化

- 1 フィルター** 高所作業を不要とする、独自開発のワンタッチフィルター


フィルター脱着 **約20秒**
(従来機種：200秒)
- 2 ルーバー** 上下・左右ルーバーの取り外しが容易な機構(工具なしで取り外し可能)


上下ルーバー取り外し構造 左右ルーバー取り外し構造

メンテナンス性の向上